

令和 8 年 8 月 18 日
14 時 00 分 現在
九州運輸局災害対策本部

注) 朱書きは前回報告からの追加修正

熊本地方の地震にかかる九州運輸局の対応状況【第 13 報】

1. 鉄道関係施設の被害等の状況

○脱線

JR 貨物 八代駅 7 番線 留置車両 6 両（機関車 1 両、貨車 5 両）脱線・横転

○施設被害（現在までに判明した箇所であり、現在も詳細確認中）

＜新幹線＞

JR 九州 ・九州新幹線（熊本駅～新水俣駅間）

構造物の変状 200 箇所以上

〔防音壁落下、橋脚・橋桁変状、高架橋損傷等〕

軌道変状 約 40 箇所

〔レールゆがみ、継目部の破断、部材の損傷等〕

※被害状況確認中

＜在来線＞

JR 九州 ・鹿児島線（宇土駅～八代駅間）

架線断線 1 箇所、軌道変状 約 150 箇所

乗降場破損 5 箇所、電柱損傷 約 40 本

車両破損（パンタグラフ）2 編成

橋りょう変状 5 箇所、変圧器損傷 3 台

架線金具損傷 300 箇所超

※復旧計画策定中

肥薩おれんじ鉄道 ・肥薩おれんじ鉄道線（八代駅～水俣駅間）

軌道変状 多数、乗降場破損 多数

架線断線 1 箇所

※被害状況確認中

○運転見合わせ・再開の状況（見込み含む）

＜新幹線＞

- ・運転を見合わせている路線：1 事業者 1 路線

JR 九州 ・九州新幹線（熊本駅～新水俣駅）

〔復旧には大幅な時間を要する見込み（8 月中の再開は困難）〕

＜在来線＞

- ・運転を見合わせている路線：2 事業者 2 路線

JR 九州 ・鹿児島線（宇土駅～八代駅）

〔復旧には大幅な時間を要する見込み（8 月中の再開は困難）〕

肥薩おれんじ鉄道 ・肥薩おれんじ鉄道線（八代駅～水俣駅）

〔復旧には大幅な時間を要する見込み〕

○代行バス輸送の実施状況（見込み含む）

- ・JR 九州 ・鹿児島線（宇土駅～八代駅）

- ・宇土駅～松橋（まつばせ）駅間、宇土駅～小川（おがわ）駅間：8 月 19 日より
開始予定（朝夕の時間帯のみ）

- ・宇土駅～八代駅間：8 月 26 日からの実施に向け準備中

（九州運輸局の対応）

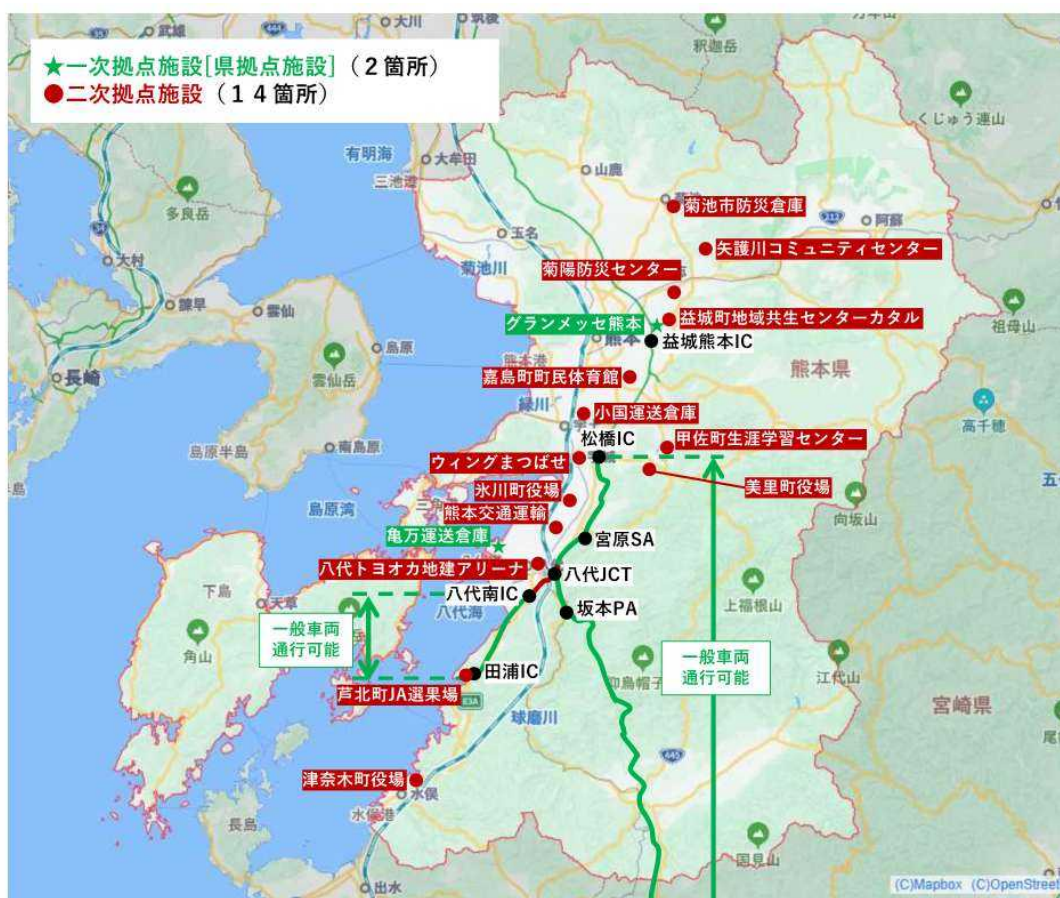
- ・熊本県及び JR 九州に対し、九州管内の貸切バス事業者情報（対応可能な車両数
リスト）を提供済み
- ・県外事業者で輸送対応する際は道路運送法第 20 条第 1 項に基づき区域外の運行
が可能な旨、九州管内の全貸切バス事業者に周知済み

- ・肥薩おれんじ鉄道 ・肥薩おれんじ鉄道線（八代駅～水俣駅）

- ・8 月 10 日より八代駅～水俣間で代行バスを運行開始

2. 緊急物資輸送

一次拠点、二次拠点の位置図



3. 鉄道以外の所管事業施設の被害等の状況

(1) 自動車関係

○バス運行状況【高速バス】 4事業者 4路線 運休

事業者名	路線（方面）名	被害状況
西日本鉄道	福岡～鹿児島	8/15～通常運行
JR 九州バス	新八代～宮崎	運休
JR 九州バス	福岡～鹿児島	8/17～通常運行
南国交通	福岡～鹿児島	8/17～通常運行
南国交通	熊本～鹿児島	8/17～通常運行
宮崎交通	新八代～宮崎	運休
九州産交バス	福岡～宮崎	運休 九州産交バス担当分 は運休のまま
九州産交バス	熊本～鹿児島	8/17～ 通常運行
産交バス	新八代～宮崎	運休
鹿児島交通	福岡～鹿児島	8/15～ 通常運行
鹿児島交通	熊本～鹿児島	8/17～ 通常運行

○タクシー関係

人的被害：なし

物的被害：以下のとおり

(法人)

- ・建物被害 26 社（うち、熊本県：25 社、福岡県 1 社）
- ・車両損害 8 社 10 両（修理可能：10 両、修理不能：0 両）
- ・営業不可 1 社 18 両（八代交通圏）
- ・縮小営業 3 社 74 両（八代交通圏）、2 社 18 両（宇城市）
※乗務員宅被災のため、稼働車両を縮小

○トラック関係

- ・熊本県トラック協会（以下「県ト協」という）会員被害状況（8 月 12 日現在）
人的被害 7 事業所・10 名怪我
施設被害 営業所等全壊 2 事業所
営業所等一部損壊 60 事業所
車両被害 8 事業所

○自動車整備事業関係

- ・熊本県内の自動車整備工場
人的被害 1 名

施設被害 55 件（リフトからの車両の脱落、シャッター等の損傷等）
事業継続支障 7 件（シャッターの損傷、整備機器損傷等）

（２）倉庫関係

○倉庫業関係

施設被害（計 51 事業者）

- ・ 宇城八代地区：18 事業者（荷崩れ・ラック破損、壁・ドア破損）
- ・ 熊本地区：17 事業者（荷崩れ・ラック破損、天井・壁等破損）
- ・ 上益城地区：4 事業者（荷崩れ・ラック破損、天井・壁等破損）
- ・ 天草地区：2 事業者（荷崩れ）
- ・ 鹿本菊池地区：9 事業者（荷崩れ・ラック破損、天井・壁等破損）
- ・ 荒尾玉名地区：1 事業者（シャッター破損）

なお、人的被害はなし。

（３）海事関係

○造船所関係 熊本県内全 15 事業者

人的被害：なし

施設被害：あり 5 事業者（熊本県） 事業再開 4 事業者

- ・ 施設被害状況を調査中、工場内の道路にもダメージがあり、復旧には 1 週間程度かかる見込み
- ・ 約 3 割の従業員が出勤して復旧作業中。⇒8/10 から一部営業再開。
- ・ ジブクレーン（10t）1 機に約 1.2° の傾斜が確認され修理予定

○舶用工業関係 熊本県内 17 事業者（被害なし 16） （第 11 報から変更なし）

人的被害：あり 1 事業者

- ・ 軽い打撲の従業員が複数名

施設被害：あり 1 事業者（熊本県）

- ・ 工場内への立入禁止が解除され被害状況を調査。8/17(月)より順次工程毎に生産開始予定。

○港湾運送関係 （第 12 報から変更なし）

＜八代港＞ 6 事業者 事業再開 1 事業者

人的被害：なし 6 事業者

施設被害：あり 6 事業者

- ・ 倉庫内の貨物が一部倒壊
- ・ エプロンから 1～2 m 程度の範囲で 30cm の段差が生じており、ストラドルキャリア が近くに行けない状態。
- ・ ガントリークレーンは動かしていないので状況は不明
- ・ ガントリークレーンのレールに歪みがあり、油漏れが発生し、使えない状況

- ・ 岸壁付近は一部に液状化、陥没しており荷役ができない状況
- ・ 3段積みコンテナが倒れてはいないが、ズレが生じている
- ・ 当分の間、八代港は抜港されるとみられるため荷役はない
- ・ 家屋が全壊した社員もあり、ギャングが組めるか不透明
- ・ 事務所が停電、断水している
 - ・ アンローダー2機のうち1機がレールから脱輪
 - ・ 荷主が日本製紙メインのため、日本製紙の八代工場が被災した関係で当面、荷役再開の目処が立たない

コンテナ航路の状況

- ・ 八代港に寄港する国際コンテナ航路のうち、プサン航路（7月29日、7月31日寄港）の2便は抜港、台湾航路便は当面の間、寄港取りやめ。

（4）観光関係

○ホテル避難

- ・ 熊本県は8月3日から、避難者向けにホームページでの周知を開始。8月8日（土）13:00から専用コールセンターを開設。（9:30～17:30 ※土日祝も運営）

【ホテル避難】（8月17日 14:00 現在）

受入可能施設 169 施設（熊本県内）

申し込み件数 1,227 件、マッチング済件数 323 件

- ・ 現在、避難先のホテルへの移動は被災者ご自身でお願いしているため、車を保有しない避難者の輸送手段の確保が今後の課題。

○宿泊施設（8月18日 14:00 現在）

注) 余震が続いている状況で、八代市をはじめ避難指示を継続している地域が多く、被害全容の把握には時間を要する見込み。なお、各施設の修理については、完了までに時間がかかる見込み。

◆物的被害

【佐賀県】 壁崩れ・ひび 1 件

【長崎県】 壁崩れ・ひび 3 件

【熊本県】

・ 建物被害等により営業中止 12 件

・ 断水中 2 件

・ ガス供給停止中 1 件

・ 壁崩れ・ひび 2 件

・ エレベーター停止中 14 件

・ 立体駐車場使用不可 4 件

【鹿児島県】

・ 立体駐車場使用不可 1 件

○観光施設関係（8月18日 14：00現在）

《物的被害・人的被害》

- ・物的被害：【熊本県】熊本市1施設
- ・人的被害：なし

4. 対応体制等

（1）九州運輸局の体制

7月28日（火）16:28 非常体制

- ・九州運輸局災害対策本部の開催状況

7月28日 17:28 第1回本部、20:45 第2回本部

7月29日 8:45 第3回本部、13:40 第4回本部

7月30日 11:15 第5回本部

7月31日 16:15 第6回本部

8月1日 14:15 第7回本部

8月4日 10:20 第8回本部

8月5日 15:20 第9回本部

8月7日 14:15 第10回本部

8月10日 14:15 第11回本部

8月12日 14:15 第12回本部

8月18日 14:15 第13回本部

（2）リエゾン・現地本部要員の派遣

九州運輸局から熊本県庁へ2名を派遣（リエゾン2名）

担当業務：緊急支援物資の物流関係（リエゾン1名）

現地災害対策本部との連絡・補助（リエゾン1名）